

令和3年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金災害発生状況
(令和4年1月19日時点)

【発生した災害1】

発生日時： 令和3年11月21日 9時40分頃

受傷状況： **背骨破裂骨折による脊髄損傷。**(歩行できないとのこと)

作業内容： **作業予定地に向かう作業道上の倒木(枯損木)処理**

発生状況： 倒木梢端部が地面に刺さった状態で作業道を塞いでいた倒木(広葉樹：伐根径32cm)を被災者(70代)と活動組織の構成員2名の計3名で処理した際に被災したものの。

倒木の根本部を切断したが、チルホールを使っても倒木が動かなかったため、構成員の1人が梢端部の切断を試みたがチェーンソーが挟まったため、被災者が別のチェーンソーで切断したところ、チルホールのワイヤー取付部を支点として根元が被災者と構成員に向かって回転し、当該2名が下敷きとなった。

構成員は地面との隙間から脱出しケガはなかったが、被災者は下敷きとなったまま脱出出来ず、構成員が救急に連絡し、ヘリコプターで倒木を吊り上げ被災者を救出し、救急車で病院へ移送され、緊急手術を受けた。

【発生した災害2】

発生日時： 令和3年7月17日 10時30分頃

受傷状況： **左足脛骨骨折、左大腿骨剥離骨折**

作業内容： **切捨て間伐(伐倒、枝払い、玉切り)**

発生状況： 被災者(40代男性)は、活動組織の構成員5名と共に切捨て間伐の作業中、伐倒木(ヒノキ、樹高約20m、胸高直径24cm)の玉切り作業を始めたところ、最初の**玉切り直後に材が跳ねて**被災者の左足に激突し、左足がそのまま伐倒木本体の下敷きとなった。自力で脱出できず、活動組織5名が駆け付け、伐倒木から解放し、簡易の担架により作業路まで引き上げ(標高差約30m)、病院に搬送され、受診し治療を受けた。

【発生した災害3】

発生日時： 令和3年9月12日 10時頃

受傷状況： **ハチ刺され(スズメバチ)**

作業内容： **立ち枯れ木の伐採**

発生状況： 9月12日8時より活動組織の構成員15名にて山林整備作業を開始した。

被災者(50代男性)が立ち枯れ木を伐採したところ、複数のスズメバチに囲まれてしまった。背中に強い痛みを感じたため、現場から100メートルほど走って離脱したが、その間に肩や背中、ふくらはぎなど全身7か所を刺された。

その他の構成員が直ぐに救出し建物へ移動して、ポイズンムバーで毒を吸い出したのち、病院にて受診し治療を受けた。

【発生した災害4】

発生日時： 令和3年10月8日11時20頃

受傷状況： **ハチ刺され（オオスズメバチ）**

作業内容： **チェーンソーによる伐採集積作業**

発生状況： 被災者（60代男性）は活動組織の構成員4名とチェーンソーによる伐採集積作業中に、オオスズメバチに腕や背中等を10箇所以上刺された。

駐車所まで自力で歩行（約10分）し、救急車で市内の病院へ搬送され、入院し治療を受けた。